

戸塚神社古墳(藤岡市)

ここは村社戸塚神社/ここに神流川左岸の平坦地に造られた6世紀後半築造の前方後円墳である戸塚神社古墳が所在する



左手に後円部から前方部方向を見たところ



ここは丁度くびれ部辺り/左手が前方部、右手が後円部



左手の前方部の墳頂には、戸塚神社社殿が建っている



右手の後円部を見ると、フェンスで囲まれた石室がある



元々、西側(左手)の壁が崩れてきていて、東日本大震災で崩壊が早まり、内部に土嚢が積まれたらしい



石室の上部/コンクリートで固められている/両袖型の横穴式石室で、玄室の平面形は胴張り、側壁は河原石を乱積みしたもので、玄室の中段辺りから積み方も変化していると云う/フェンスの向こう側に説明坂が見える



標柱と説明板



戸塚神社古墳は野見塚古墳群に属し、通称「おくまん様」と呼ばれているらしい

戸塚神社古墳

所在地 藤岡市上戸塚字熊野三六三

所有者 戸塚神社

本古墳は藤岡台地の北東部に位置する六世紀後半に造られた前方後円墳である。通称「おくまん様」と呼ばれている。

古墳の大きさは全長五三メートル、前方部の幅四〇メートル、後円部の径二七メートルである。

石室は両袖型の横穴式で、玄室くわんしつの平面形は胴張りになっている。側壁は河原石を乱石積みにしたもので、玄室の中段あたりから積み方が変化している。

出土遺物は、圭頭太刀けいとうたち・管玉くだたま・切小玉きりこたま・埴輪はじりんなどがある。これらの遺物は、現在東京国立博物館に收藏されている。



藤岡市教育委員会

右手で後円部から前方部方向を見たところ/社殿造営により、かなり改変されてしまっているが前方後円墳の雰囲気は残っている



後円部から前方部に建つ戸塚神社社殿を見たところ



これが前方部に建つ戸塚神社社殿



そこで右手に、前方部の墳丘を見たところ



同じく左手に、前方部の墳丘を見たところ



振り返って後円部方向を見たところ



南側から前方部を見上げたところ/墳丘に葺石や埴輪の存在が確認されていると云う



前方部の背後を南側から北方向に見たところ



そこで右手に前方部から後円部方向を見たところ



参考ホームページ

https://www.city.fujioka.gunma.jp/kakuka/f_bunkazai/todukazinzyakohun.html

<https://ameblo.jp/fookky/entry-12385616002.html>

<https://blog.goo.ne.jp/noda2601/e/d1b37f29d649b914aa515d7b7960fcec>

<http://pennihonshi.blog.fc2.com/blog-entry-722.html>

<http://kofunnomori.web.fc2.com/gunma/fujioka/totukaiinja.htm>

https://s.webry.info/sp/mkawa.at.webry.info/201702/article_14.html

